

令和6年度

登録左官基幹技能者認定試験問題（60分）

関東ブロック

受講番号		氏名	
------	--	----	--

1. 試験時間 60分

2. 問題数 25題（四肢択一法）

3. 注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子はあけないでください。
- (2) 受講番号と氏名は、問題用紙および解答用紙のそれぞれの所定の欄に必ず記入してください。
- (3) 本冊子は、表紙を含めて9頁です。次に、問題数を確かめてください。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合には、黙って手を上げて申し出てください。
- (4) 試験開始の合図で始めてください。
- (5) 解答の方法は、次のとおりです。
 - ①正解と思うものを、1～4の番号の中から1つだけ選んで、解答用紙の解答欄にその番号を、黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
 - ②解答を訂正する場合は、訂正する解答を、プラスチック消しゴムできれいに消した後、新しい解答を記入してください。
消し方が不十分な場合は、2つ以上解答したこととなり正解としません。
 - ③受験番号および選択した番号を正しく記入していないものは、採点せず全問題を0点とすることがあります。
- (6) 電子式卓上計算機、携帯電話の計算機能その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- (7) 試験中、質問があるときは黙って手を上げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
- (8) 答案ができあがったら、監督者の指示に従って提出してください。ただし、試験開始30分以内の場合は、退出できないので、静かに着席しててください。

一般社団法人 日本左官業組合連合会

以下の問題をよく読み、解答用紙に正解番号を記入しなさい。

問題1 登録基幹技能者に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 建設工事において建築施工管理技術者（現場監督）に媚びる。
2. 建設工事において品質面で質の高い施工を確保する。
3. 建設工事において生産性の向上を図る。
4. 建設工事においてコスト面で質の高い施工を確保する。

問題2 キャリアアップカードに関して、最も不適当なものはどれか。

1. レベル4のカードの色はゴールド
2. レベル3のカードの色はプラチナ
3. レベル2のカードの色はブルー
4. レベル1のカードの色はホワイト

問題3 登録基幹技能者に求められる職務遂行上の能力区分に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 施工計画の策定に参加し、計画に係る諸事項の決定及びその管理方法について提案する能力がある。
2. 現場周囲の高齢者に気を配り、常に相互信頼の中で話し合いの雰囲気づくりができる能力がある。
3. 職務に係る技術提案等を積極的に行い、全体の成果に結びつけることができる能力がある。
4. 施工現場の直接窓口として、常に他業種とのコミュニケーションに心掛け、信頼関係の中で折衝、調整を行い、工事を円滑に推進する能力がある。

問題4 登録基幹技能者に必要な資質に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 現場内の緑化を図る。
2. 統率力がある。
3. 決断力を持って行動する。
4. 理屈を言う前に実行する。

問題5 登録基幹技能者の OJT および Off-JT に関して、最も不適当なものはどれか。

1. OFF-JT は、日常の仕事を離れて行われる集合研修・教育である。
2. Off-JT は、Off Peak 定期券のことである。
3. OJT は、On the Job Training のことである。
4. OJT は、職場の上司が部下の育成のために、日常の作業を通して行う指導・教育である。

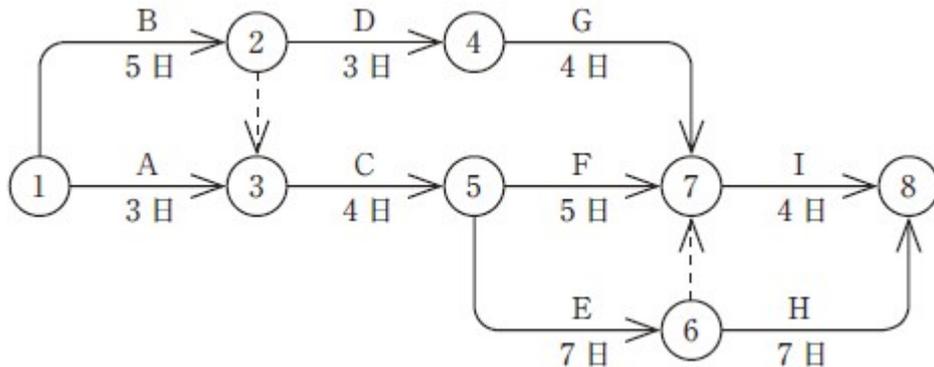
問題6 登録基幹技能者としての法令遵守に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 法令遵守とは、法律や省令・規則、条例などを守ることである。
2. 常に請負の要件に配慮し、労働者派遣の実態とならないようにすることが必要不可欠である。
3. 建設業務に対する労働者派遣は認められていない。
4. 建設業においては、実態として労働者派遣契約は皆無である。

問題7 新しい技術に関して、最も不適当なものはどれか。

1. BIM は、新築プロジェクトに適用されるだけでなく、維持管理工事、改修工事や施設運営など施設の環境を維持するための活動全般に適用される。
2. BIM は、建築物の新築工事のみの意思決定を改善する戦略上重要な役割を果たす。
3. BIM とは、建設時や施設の資産管理におけるデジタル形式であり、発注者とプロジェクト関係者にとっての成果を向上させるために新技術群とデジタル化された情報、プロジェクトのプロセスの改善と資産管理を同時にもたらすものである。
4. BIM は、単なるソフトウェア技術の範囲を超えて、建築プロジェクト全体の生産性向上のための運動全体を指す用語として用いられるようになってきている。

問題8 次の工程表に関して、最も不適当なものはどれか。



1. この工程表の工期は、23日である。
2. この工程表のクリティカルパスは、B→C→E→Hである。
3. D作業の最遅終了日(LFT)は、10日である。
4. D作業のトータルフロート（余裕日数）は、7である。

問題9 わが国の建設業における労働災害減少の要因に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 安全関係法規の整備があげられる。
2. 安全に作業するための設備として脚立の天端での作業があげられる。
3. より安全な施工法の確立があげられる。
4. 省人化・大型化の促進があげられる。

問題10 施工管理における三大管理とその関連性に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 工程と原価の関係は、施工速度を上げると単位時間当たりの出来高が増え、原価は安くなる。
2. 工程と原価の関係で、施工速度を上げ過ぎると突貫作業となり、逆に原価は高くなる。
3. 原価と品質の関係は、一般的に品質を良くすると原価は低くなるが、品質を下げると原価は高くなる。
4. 品質と工程の関係は、品質の良いものは一般に時間がかかり施工速度は遅くなるが、品質を下げると施工速度は上がる。

問題 11 施工要領書の周知方法に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 関係作業員全員参加のもとで説明する。
2. 安全、品質、工程の管理上の急所を入れて説明する。
3. 他職種との関連工事について説明する。
4. 近隣等への影響については敢えて説明せず、新規入場者教育時に説明する。

問題 12 会社経営と工事現場の原価管理に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 請負契約時にある程度の精度のある見積原価を算出しなければ、明確な利益予測ができない。
2. 限られた時間の中で行う見積書の作成でも、施工計画を詳細に検討して、見積原価の精度を上げる。
3. 契約後に現場条件に合わせた施工計画の詳細を検討し、「実行予算の作成」を行う。
4. 作成した実行予算を枠組みとして発注し、資機材や労務を管理し、予算内に収めるように「予算実績管理」をする。

問題 13 専門工事業者の予算実績管理に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 現場においては、施工数量に対する人工数の目標を管理するよりも工程遅延がないように注意する。
2. 原価管理では、契約した工事がスムーズに行くように先を見通して元請と打合せする。
3. 他の外注業者との調整も必要になり、作業が滞ったり手戻りとなったりすれば、人工がかかって原価を圧迫してしまう。
4. 毎日の作業日報で契約内と契約外工事を明確にしておくとともに、毎週あるいは毎月とりまとめて元請に提出することが必要である。

問題 14 高い品質に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 専門工事業者が施工するそれぞれの工程や部分には品質があるが、品質は「検査でつくる」ことが重要である。
2. 最終的な品質の高さは、品質の高い工程を積み上げることで実現できる。
3. 前工程に不具合があれば、後工程でも不具合が発生するので、「後工程はお客様」という考え方を浸透させる。
4. 発注者を始めとして、建設コンサルタント、設計・監理者、総合工事業者、専門工事業者、材料供給業者間で品質の考え方の共有が必要である。

問題 15 作業標準書による施工品質の確保・向上に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 施工品質を確保し、向上させるためには、可能な範囲で作業の標準化を図ることが必要である。
2. 標準化した作業内容を文書化したものが「作業標準書」である。
3. 登録基幹技能者は、作業標準書を熟知し、機会あるごとに施工チーム内にその内容を効果的に伝達しなければならない。
4. 登録基幹技能者は、特に未熟練者や新規入場者に対しては、自身の経験だけで指導や指示することが必要である。

問題 16 建設業法に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 建設工事の請負契約の当事者は、各々対等な立場における合意に基づいて公正な契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行しなければならない。
2. 建設工事の契約の締結に際して工事内容や請負代金の額などを書面に記載するだけでよい。
3. 注文者は自己の取引上の地位を利用して、その注文した建設工事を施工するために通常必要と認められる原価よりは多少少ない金額を請負代金の額とする請負契約を締結してはならない。
4. 注文者は、その注文した建設工事を施工するために通常必要と認められる期間に比して著しく短い期間を工期とする請負契約としてはならない。

問題 17 建設業法令遵守ガイドラインに関して、最も不適当なものはどれか。

1. 建設業の担い手を確保するために、処遇改善等を通じて建設業への若年層の入職を促進することが必要である。
2. 赤伝処理等による一方的な代金の差し引き等、下請負人へのしわ寄せによって技能労働者への適正な賃金水準が確保できなくなるなど、建設業が持続的な発展を遂げる上で阻害要因となっている。
3. 「建設業法令遵守ガイドライン」には、どのような行為が建設業法に違反するかを具体的に示しているが、法令違反行為についてはその都度異なるので個別に検討することとなる。
4. 「建設業法令遵守ガイドライン」は、元請負人と下請負人との対等な関係の構築及び公正かつ透明な取引の実現を図ることを目的としている。

問題 18 セルフレベリング材に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. セルフレベリング材を流した時、下地コンクリート内の空気の置換空気量が多すぎると脱泡しきれずにセルフレベリング材の表面に気泡跡を残すようになるが、気泡は全て乾燥前に消えるので何も対処しなくても良好な仕上がりになる。
2. 袋で供給されるセルフレベリング材の練り混ぜについては、一般にはグラウト用高速ミキサなどで行う。
3. 水量及び練り混ぜ時間の変動は流動性・品質に著しい影響があるので、水量・練り混ぜ時間は正確に管理しなければならない。
4. セルフレベリング材塗りは、流し込むだけで平坦になる性質があるものを指し、せっこう系およびセメント系等の床塗り材である。

問題 19 左官工事の品質管理に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 建設物は、多くの専門工事業者が分担して施工ものであり、専門工事業者が施工するそれぞれの工程や部分にも品質がある。
2. 建設物は、一品生産で個別性が強く、評価の対象も多様であるため、設計図書などから関係者で品質特性と品質特性値について事前に合意しておく必要がある。
3. 顧客の要求を大きく超えるような品質の実現は、コストも高く、工期も長くなり、製品やサービスの競争力を低下させる可能性がある。
4. 「品質は工程でつくり込む、検査ではつけれない」という言葉が示すように、品質の高い工程を積み重ねることによって、最終的な品質の高さが、実現するものである。

問題 20 下地調整塗材に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. セメント系下地調整塗材は、JIS A 6916 の品質基準「下地調整用軽量セメントモルタルの品質規準」に適合するもの、若しくは試験または信頼できる資料で品質の確かめられたものとする。
2. 下地調整塗材 E は、主に ALC パネル外壁の仕上塗材などで用いられている、せっこう系の塗り材である。
3. セメント系仕上塗材用下地調整塗材において、CM-2 は下地調整塗材と呼ばれており、タイル下地を含むすべての仕上塗材が施工できる。
4. セメント系仕上塗材用下地調整塗材において、CM-1 は 3~10mm 程度に施工される材料である。

問題 21 左官工事の品質管理の「練り混ぜ」に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. セメントモルタルの練り混ぜは、セメントと細骨材を十分にかき練りし、2 時間以内に使い切る量で水を加えてよく練り合わせる。
2. 既調合セメントモルタルにポリマーを混入する場合、硬めで作業しにくい場合には、少量の水を加え適正な粘度に調整する。
3. セメントモルタルの練り混ぜは、機械練りを原則とする。
4. セメントは加水と同時に水和反応が始まり、温度によっては凝結時間が変化しないので、可使時間は冬期と夏期で変わらない。

問題 22 左官に係る法律・書籍に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 「公共建築工事標準仕様書」の内容は、一般事項や仮設等の共通工事、施工方法、検査・試験方法など、公共建築工事の共通の事項および工法・検査等について標準的な仕様を取りまとめている。
2. 「左官施工法 2020」は（一社）日本左官業組合連合会が発行しており、「建築工事標準仕様書・同解説」を基にした内容の副読本として、時代に即応しながら普遍的な基礎技能と知識を習得することに重点を置いている。
3. 「建築基準法」は、私たちが安全で快適に暮らせるためのルールを定めたもので、建物を建てる時に守るべき基本ルールが記載されている。
4. 「建築工事標準仕様書・同解説」は日本建築学会が発行しており、通称「JIS」（ジス）ともいう。適切な施工標準を作ることを目的として工事の種類ごとに体系づけられ、JIS1 から JIS27 まであり、左官工事は「JIS15」となっている。

問題 23 コンクリート下地セメントモルタル塗り工法に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. セメントモルタル塗りの表面仕上げは、モルタル張りタイル下地は木鋺仕上げ、塗装下地・防水下地は金鋺仕上げ、吹付下地は刷毛引き仕上げとする。
2. セメントモルタルの調合は、下地側に塗られるものほど強度を大きくする。
3. 塗り厚は天井・庇は 12mm 以下、その他は 25mm 以下とする。天井・庇以外の部分の 1 回の塗り厚は 6mm を標準とし 12mm を限度とする。
4. セメントモルタル塗付け後の急激な乾燥により、強度が小さく接着力も不十分な塗り層となることは剥離の原因となり、この現象を「ドライアウト」と呼ぶ。

問題 24 左官工事の一般事項に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 左官の大きな特徴に、複雑な形状でも自由に形成することができる「可塑性」と、シームレスな仕上げが可能な「展伸性」という性質がある。
2. 左官工事の品質管理項目として、必要な強度と適当な表面硬度を有することが要求されている。
3. セメントモルタルの標準調合比はポルトランドセメント 1：川砂 3 であり、この比率よりも川砂が多くなれば「富調合」となり、少なくなれば「貧調合」となる。
4. コンクリート打設の際、浮き水と共に浮上したセメント粒子からなる薄い泥状物がコンクリート表面に形成した層を「レイタンス」という。

問題 25 各左官下地に関して、最も不適当なものはどれか。

1. ラス系下地における平ラスは木造外装用として不適格であるが、ひび割れ防止の補強材としては部分的に使用できる。
2. ラス系下地の二層下地通気構法とは、通気胴縁の屋外側にラス下地板や面材を留め付け、その上に波型ラスをステーブルで留め付ける仕様である。
3. 現代しっくい施工要領の下地におけるジョイント処理において、石膏の露出部がある場合には、アクリル系合成樹脂プライマーよりもエチレン酢酸ビニル系プライマーを塗布したほうが、疎水性が高く緻密な被膜を作りやすく効果的である。
4. 現代しっくい施工要領の木製壁下地において、石膏ボードを留め付けるビスピッチは、ボード周辺部 100mm、一般部 150mm を推奨している。